

人権問題都民講座 大学で保育所を経営してわかったこと

少子高齢化が進む日本社会の持続的な発展のために「女性の活用」が注目されています。とりわけそれが政府による経済成長戦略の主要なテーマとされてから、従来の男女平等の考え方を超えて語られるようになってきました。働く女性に対する社会的支援は幅広い視点から検討されなければならないことですが、最近では、子育てや家事労働をめぐる問題がクローズアップされ、なかでも待機児童の解消や男性の育児参加・家事分担など、より具体的な問題についての議論が活発化しています。

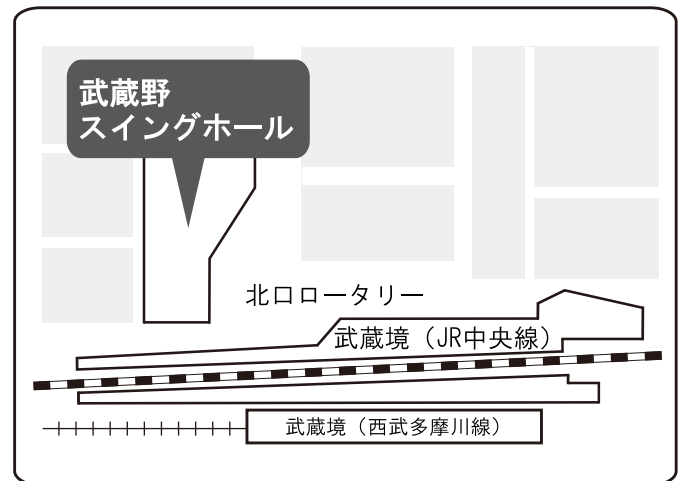
そこで、ジェンダー論の論客であるとともに、育児から保育所運営までを実際に経験された瀬地山角さんを講師にお迎えし、自らの体験を基にこれらの問題へアプローチしていただきます。男女共同参画社会の現在と未来について、ともに考えてみませんか。

【講師プロフィール】

せ ち や ま か く
瀬地山 角

東京大学大学院 総合文化研究科 教授

1963年奈良県生まれ。東京大学大学院博士課程修了。博士(学術)。専門はジェンダー論、および東アジア研究。北海道大学文学部助手、東京大学教養学部助教授等を経て現職。東大駒場キャンパス内の保育所運営に携わり、「イクメン」教授として研究と実践の両立をめざしている。主著『お笑いジェンダー論』『東アジアの家長制』(いずれも勁草書房)。



会場：武蔵野スイングホール スカイルーム（南棟10階）

電話・FAX・Eメールにてお申し込みください。

お申込先 公益財団法人 東京都人権啓発センター

電 話 03-3876-5372

Eメール koza_h2602@tokyo-jinken.or.jp

FAX申込みフォーム FAX03-3874-8346

①お名前（代表者）	参加人数 人	
②ご連絡先 (いずれかお選びいただき、ご記入ください。)	電話	FAX
	メール @	
③ご所属またはご住所	託児希望 有・無	

※お申し込みは先着順でお受けいたします。定員に達し次第締め切らせていただきます。

なお、ご提供いただいた個人情報は、今回の申込手続き以外使用いたしません。